

## 略歴

おおた ひでゆき

氏 名 太 田 英 之

生年月日 昭和 54 年 1 月 17 日生 (満 46 歳)

平成 15 年 藤田保健衛生大学 (現藤田医科大学) 医学部卒業

医師免許取得 (医籍番号 ; 432958)

平成 16 年 名古屋大学整形外科入局

平成 27 年 名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻 医学博士取得

名古屋大学 博士 (医学) 学位授与番号甲第 10810 号

平成 15 年 名古屋掖済会病院 臨床研修医

平成 17 年 名古屋掖済会病院 整形外科 医員

外傷および整形外科全般

特に四肢外傷外科 (渡邊健太郎先生 矢島弘毅先生) を学ぶ

平成 22 年 名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻 運動・形態外科学講座

手の外科学 入学

整形外科・手外科臨床に従事するとともに CRPS をはじめとする

疼痛医学の基礎研究 (平田仁先生 山本美知郎先生 岩月克之先生)

平成 24 年 名古屋大学医学部附属病院 医員兼務

平成 27 年 名古屋大学大学院修了 医学博士

平成 27 年 名古屋掖済会病院 整形外科・リウマチ科 医長

平成 28 年 名古屋大学手の外科学非常勤講師兼任

平成 30 年 名古屋掖済会病院 整形外科・リウマチ科 部長

令和 2 年 名古屋掖済会病院 整形外科・手外科 部長

名古屋掖済会病院 手外科・マイクロサージャリーセンター

センター長兼任

現在に至る

令和 4 年 名古屋掖済会病院 医療安全対策室室長兼任

現在、名古屋掖済会病院にて主に四肢外傷の治療と新たな治療戦略の開発を行いながら、それらをテーマにした臨床研究にと、医療安全活動に従事している。

所属学会

日本整形外科学会 (専門医)、日本手外科学会 (専門医)、日本マイクロサージャリー学会、

日本骨折治療学会、日本肘関節学会、日本運動器疼痛学会、日本末梢神経学会、日本創外固定・骨延長学会、中部手外科研究会

【評議員・代議員】

日本手外科学会代議員

日本マイクロサージャリー学会評議員

運動器疼痛学会代議員

日本肘関節学会評議員

中部日本手外科研究会運営委員

賞罰

第13回整形外科痛みを語る会 奨励賞 最優秀賞

英語論文

Tensile Strength of Nerve Bridging Models Using Collagen Nerve Conduits.

Hattori Y, et al. Among authors: Ota H. J Reconstr Microsurg. 2024.

Delayed debridement affects prognosis in patients with purulent flexor tenosynovitis: a retrospective cohort and multivariate analyses.

Fujihara Y, Sakai A, Niwa S, Ota H, Kumagai H.

Arch Orthop Trauma Surg. 2024 May;144(5):2437-2441.

An age-matched comparative study on intramedullary nailing and plate fixation of both-bone diaphyseal forearm fracture in adolescents.

Ishihara N, Tokutake K, Takegami Y, Asami Y, Kumagai H, Ota H, Kimura Y, Ohshima K, Imagama S.

Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Jan;34(1):441-450.

Are the Clinical Results of Locking Plate Fixation for Distal Radius Fractures Inferior in Patients over 80 Years of Age? A Multicentre (TRON Group) Study.

Sakurai S, Takegami Y, Tokutake K, Kuwahara Y, Shibata R, Ota H, Kumagai H, Imagama S.

Indian J Orthop. 2022 Dec 6;57(1):117-123.

Volar plating versus external fixation for unstable dorsal fracture-dislocations of the proximal interphalangeal joint.

Murayama A, Watanabe K, Ota H, Kurimoto S, Hirata H.  
J Hand Surg Eur Vol. 2022 Mar;47(3):308-313.

Prognostic factors for postoperative complications after K-wire fixation for paediatric forearm fractures: a multivariate analysis.  
Fujihara Y, Ota H, Sakai A.  
J Pediatr Orthop B. 2022 Jan 1;31(1):50-54.

Factors Affecting the Range of Motion of the Elbow after Open Reduction of Olecranon Fractures.  
Fujihara Y, Ota H, Watanabe K.  
J Hand Surg Asian Pac Vol. 2021 Mar;26(1):60-64.

Outcome of “Cross-coupling Suture Button Suspensionplasty” for Thumb Carpometacarpal Joint Osteoarthritis: A Preliminary Report.  
Ota H, Watanabe K, Sasaki H, Fujihara H, Murayama A  
The Journal of Hand Surgery (Asian-Pacific Volume) 2021 Dec;26(4):728-733.

Factors Affecting the Range of Motion of the Elbow after Open Reduction of Olecranon Fractures  
Yuki Fujihara, Hideyuki Ota and Kentaro Watanabe  
The Journal of Hand Surgery (Asian-Pacific Volume)

Prognostic factors for postoperative complications after K-wire fixation for paediatric forearm fractures: a multivariate analysis.  
Fujihara Y, Ota H, Sakai A.  
J Pediatr Orthop B. 2020 Nov 23.

Carpal Malalignment as a Predictor of Delayed Carpal Tunnel Syndrome after Colles' Fracture.  
Watanabe K, Ota H.  
Plast Reconstr Surg Glob Open. 2019 Mar 13;7(3):e2165

Utility of early active motion for flexor tendon repair with concomitant injuries: A multivariate analysis.  
Fujihara Y, Ota H, Watanabe K.

Injury. 2018 Dec;49(12):2248-2251. Injury.2018.10.022.

Concomitant injuries affect prognosis in patients with central slip tear.

Fujihara Y, Ota H, Watanabe K.

J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2018 Oct;71(10):1440-1445.

Progression from Injection to Surgery for Trigger Finger: A Statistical Analysis.

Ota H, Iwatsuki K, Kurimoto S, Iida K, Hirata H.

J Hand Surg Asian Pac Vol. 2017 Jun;22(2):194-199.

Eight-strand Cross-locked Cruciate Flexor Tendon Repair Using Double-stranded Suture: A Description of the Surgical Technique.

Watanabe K, Ota H, Sasaki H.

Plast Reconstr Surg Glob Open. 2016 Nov 7;4(11):e1048.

The Optimal Rehabilitation Period for Patients with Distal Radius Fractures According to the MCID in DASH Scores; A Preliminary Study.

Iitsuka T, Iwatsuki K, Ota H, Hirata H.

J Hand Surg Asian Pac Vol. 2016 Jun;21(2):161-6

Corrective osteotomy for malunited small finger proximal phalangeal fracture using linkage simulation: A case report.

Ota H, Iwatsuki K, Murakami Y, Nishizuka T, Kurimoto S, Yamamoto M, Hirata H.

J Orthop Sci. 2015 Nov 18. 2015.09.002. [Epub ahead of print]

Pathological mechanism of musculoskeletal manifestations associated with CRPS type II: an animal study.

Ota H, Arai T, Iwatsuki K, Urano H, Kurahashi T, Kato S, Yamamoto M, Hirata H.

Pain. 2014 Oct;155(10):1976-85.

Mechanical advantages of a truss-structure-based fracture fixation system--a novel fracture fixation device "PinFix".

Arai T, Yamamoto M, Iwatsuki K, Natsume T, Shinohara T, Tatebe M, Kurimoto S, Ota H, Kato S, Hirata H.

Nagoya J Med Sci. 2013 Aug;75(3-4):181-92.

Targeting anti-inflammatory treatment can ameliorate injury-induced neuropathic pain.

Iwatsuki K, Arai T, Ota H, Kato S, Natsume T, Kurimoto S, Yamamoto M, Hirata H. PLoS One. 2013;8(2):e57721. Epub 2013 Feb 28.

#### 国内論文

【手部・指節骨骨折 ベーシック編】手術のバリエーション 基節骨骨折の治療  
太田 英之(日本海員掖済会名古屋掖済会病院 整形外科)  
整形外科 Surgical Technique(2185-7733)14 巻 2 号 Page164-170(2024.04)

骨幹端に骨折が及ぶ橈骨遠位端骨折の合併症発生率と術後成績 Matched Case-Control Study  
藤原 祐樹(日本海員掖済会名古屋掖済会病院 整形外科・手外科), 太田 英之, 丹羽 智史, 酒井 愛  
日本手外科学会雑誌(2185-4092)39 巻 6 号 Page787-789(2023.04)

手外科医とハンドセラピストでつなぐ手外傷治療(原著論文)  
太田 英之(日本海員掖済会名古屋掖済会病院 整形外科・手外科), 丹羽 智史, 藤原 祐樹, 稲垣 慶之, 加藤 晃一, 西村 勇輝, 川口 稚乃  
日本ハンドセラピィ学会誌(1880-7380)16 巻 2 号 Page71-76(2024.03)

上肢固定を必要としない橈骨遠位端骨折症例におけるバランス機能の経時的推移稲垣 慶之(日本海員掖済会名古屋掖済会病院 リハビリテーション科), 飯塚 照史, 車谷 洋, 太田 英之, 長谷川 龍一  
作業療法(0289-4920)42 巻 6 号 Page763-771(2023.12)

手指基節骨骨折に対する鋼線刺入部位による関節可動域への影響  
鈴木 誠人, 熊谷 寛明, 太田 英之, 藤原 祐樹, 丹羽 智史, 加藤 三保子  
骨折 45 巻 2 号 Page282-286(2023.03)

大腿骨転子部骨折の後外側骨片が術後の臨床的所見に与える影響についての検討  
加藤 三保子, 丹羽 智史, 熊谷 寛明, 太田 英之, 藤原 祐樹, 鈴木 誠人  
骨折 45 巻 1 号 Page150-154(2023.01)

【四肢骨折プレート固定術の創意工夫】前腕骨幹部骨折に対する plating と後療法の工夫

太田 英之, 藤原 祐樹, 丹羽 智史, 稲垣 慶之, 加藤 晃一, 加藤 雅大  
Orthopaedics 35 巻 10 号 Page77-84(2022.10)

肋骨骨折観血的手術を行ったフレイル Chest 症例における呼吸理学療法の実験  
肥後 真介, 太田 英之, 酒井 愛, 柳内 愛, 北川 喜己  
日本救急医学会雑誌 33 巻 9 号 Page509-515(2022.09)

橈骨遠位端骨折の作業療法の実験  
稲垣 慶之, 太田 英之  
日本ハンドセラピー学会誌 14 巻 1 号 Page27-31(2021.11)

肘頭骨折患者において労災補償の有無が治療内容および治療コストに与える影響の検討  
石原 典子, 藤原 祐樹, 太田 英之, 熊谷 寛明, 丹羽 智史, 加納 寛之  
骨折 43 巻 3 号 Page521-523(2021.05)

二重エネルギー X 線吸収法により測定した腰椎と大腿骨近位部骨密度の乖離例  
水野 直樹(純正会名古屋西病院 整形外科), 熊谷 寛明, 太田 英之  
整形外科 72 巻 3 号 Page221-223(2021.03)

高齢患者における 25(OH)D とカルシウム値の関係  
水野 直樹(純正会名古屋西病院 整形外科), 熊谷 寛明, 太田 英之  
整形外科 71 巻 13 号 Page1395-1397(2020.12)

伸筋腱損傷 (Zone III・IV)  
太田英之 稲垣慶之 加藤雅大 渡邊健太郎  
PEPARS, No158 : 73-79, 2020

外傷性手部コンパートメント症候群に対する減張切開術後のアウトリガースプリントを用いた術後セラピーの治療成績  
加藤 雅大, 稲垣 慶之, 渡邊 健太郎, 太田 英之  
日本ハンドセラピー学会誌 12 巻 5 号 Page249-252(2020.07)

人工股関節全置換術後に転倒によりライナーの破損をきたした 1 例  
水野 直樹(名古屋掖済会病院 整形外科), 熊谷 寛明, 太田 英之  
整形外科 71 巻 8 号 Page879-883(2020.07)

80 歳以上の高齢者の橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレート固定術の検討

西川 恵一郎(名古屋掖済会病院 整形外科・リウマチ科), 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 佐々木 梨恵, 藤原 祐樹, 丹羽 智史, 佐伯 総太, 加納 寛之, 佐藤 駿文

東海整形外科外傷研究会記録集 32 巻 Page31-33(2019.12)

重度複数指損傷に対して血管柄付き有茎 MP 関節移植による spare parts surgery で機能再建した 2 例

村山 敦彦, 太田 英之, 渡邊 健太郎, 平田 仁

日本手外科学会雑誌 36 巻 2 号 Page138-142(2019.11)

外傷手の予後予測

飯塚 照史, 稲垣 慶之, 太田 英之, 渡邊 健太郎

日本ハンドセラピー学会誌(1880-7380)12 巻 1 号 Page35-39(2019.11)

軽微な外傷で生じた小児手部コンパートメント症候群の 1 例

加納 寛之, 渡邊 健太郎, 太田 英之

整形外科(0030-5901)70 巻 11 号 Page1145-1148(2019.10)

外傷性肘関節伸展拘縮に対する観血的関節授動術後の屈曲維持用スプリント使用例の治療成績

川口 稚乃, 稲垣 慶之, 太田 英之, 渡邊 健太郎

日本ハンドセラピー学会 11 巻 3 号 Page110-114(2019.05)

アウトカム評価に基づいた手指屈筋腱断裂に対する 8-strand 縫合法(渡邊法)による術後セラピープロトコルとその治療成績

稲垣 慶之, 渡邊 健太郎, 佐々木 宏, 太田 英之, 藤原 祐樹, 村山 敦彦

日本手外科学会雑誌 35 巻 6 号 Page1227-1232(2019.04)

手指屈筋腱断裂における渡邊法施行例の治療成績と外来早期運動療法の試み

稲垣 慶之, 渡邊 健太郎, 太田 英之, 加藤 晃一, 佐々木 宏, 藤原 祐樹

日本ハンドセラピー学会誌 11 巻 2 号 Page80-84(2019.02)

指末節部切断に対する断端形成術と皮弁術での近位指節間関節の可動域の比較

伯 総太, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 太田 英之, 藤原 祐樹

日本手外科学会雑誌 35 巻 4 号 Page688-690(2019.01)

切断指の治療法の違いによる隣接指の関節可動域の比較

佐伯 総太, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 太田 英之, 藤原 祐樹

日本手外科学会雑誌 35 巻 4 号 Page685-687(2019.01)

大腿骨頸部骨折に対する骨接合症例の予後不良因子について

伊藤鑑, 太田英之, 渡邊健太郎, 水野直樹, 佐々木宏, 熊谷寛明

骨折, 40(4): 1006-1009, 2018.

骨粗鬆症診断における腰椎,大腿骨近位部,前腕骨の 3 部位での二重エネルギーX 線吸収法測定の留意点

水野 直樹, 渡邊 健太郎, 熊谷 寛明, 太田 英之

整形外科 69 巻 11 号 Page1093-1095(2018.10)

当院における脛骨プラトー骨折の術後成績

小早川 恭介, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 佐々木 梨恵, 藤原 祐樹, 村山 敦彦, 佐伯 総太, 加納 寛之, 西川 恵一郎, 比嘉 円, 服部 幸

東海整形外科外傷研究会記録集 31 巻 Page69-72(2018.09)

高度粉碎型橈骨遠位端骨折に対する multiple locking plate 固定法の治療成績

西川 恵一郎, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 佐々木 梨恵, 藤原 祐樹, 村山 敦彦, 佐伯 総太, 加納 寛之, 小早川 恭介, 比嘉 円, 服部 幸

東海整形外科外傷研究会記録集 31 巻 Page15-19(2018.09)

【運動器疼痛 update】CRPS の最近の知見

矢島 弘毅, 太田 英之

関節外科 37 巻 6 号 Page627-630(2018.06)

【これで完璧! 手の変形性関節症-最新のエビデンスから紐解く-】 心理・社会的因子 高齢社会における手の筋骨格系障害 上肢のロコモティブシンドロームと手の変形性関節症

藤原 祐樹, 太田 英之, 渡邊 健太郎

整形・災害外科 61 巻 5 号 Page567-570(2018.04)



手根管症候群再手術例の検討

坪田 貴子, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 太田 英之, 佐々木 梨恵, 村山 敦彦  
整形外科 69 巻 4 号 Page313-316(2018.04)

D-dimer 値の二峰性推移を契機に診断できた人工膝関節全置換術後の無症候性深部静脈血  
栓塞栓症の 1 例

水野 直樹, 渡邊 健太郎, 熊谷 寛明, 太田 英之  
整形外科 69 巻 1 号 Page46-48(2018.01)

切断指再接着術後の生着予後関連因子について

比嘉 円, 太田 英之, 佐々木 宏, 佐々木 梨恵, 村山 敦彦  
日本マイクロサージャリー学会会誌 2018 年 31 巻 2 号 p. 57-61

上腕骨遠位端関節内骨折 (AO/OTA typeC) に対するプレート固定術の治療成績  
加納寛之, 渡邊健太郎, 水野直樹, 佐々木宏, 熊谷寛明, 太田英之  
骨折, 40(3): 702-706, 2018.

上肢の骨折の読影のコツと初期治療

熊谷寛明 太田英之  
レジデントノート 2017 年 10 月号: p.1767-1774

指デグロビング損傷後の PIP 関節拘縮に対してイリザロフ式創外固定器を用いた関節授  
動術が有効であった 1 例

伊藤 鑑, 太田 英之, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 佐々木  
梨恵, 村山 敦彦, 加藤 友規, 佐伯 総太, 加納 寛之, 小早川 恭介, 坪田 貴子, 比嘉 円  
東海整形外科外傷研究会記録集 30 巻 Page92-95(2017.09)

上腕骨遠位端骨折に伴う末梢神経障害のリスク因子

加納寛之, 渡邊健太郎, 矢島弘毅, 佐々木宏, 熊谷寛明, 太田英之  
整形外科 68: p.1341-1344, 2017

再接着指の偽関節率は意外に低い

太田英之, 渡邊健太郎, 服部順和, 水野直樹, 熊谷寛明, 佐伯総太  
骨折, 39(4): 803-806, 2017.

指尖損傷に対する逆行性指動脈皮弁術が PIP 関節可動域に及ぼす影響について

徳武 克浩, 奥井 伸幸, 佐々木 宏, 太田 英之, 佐々木 梨恵, 村山 敦彦  
日本マイクロサージャリー学会会誌 2016 年 29 巻 1 号 p. 29-35

人工関節置換術例の骨粗鬆症と糖尿病との関連  
水野 直樹, 渡邊 健太郎, 熊谷 寛明, 太田 英之  
整形外科 67 巻 13 号 Page1337-1341(2016.12)

【続・しびれるんです!】 限局した部位のしびれ 単神経炎を中心に 足がしびれます(2)  
太田 英之(名古屋掖済会病院 整形外科・リウマチ科)  
総合診療 (2188-8051)26 巻 11 号 Page910-914(2016.11)

近位骨片温存不能の舟状骨偽関節に対して遊離血管柄付き内側大腿骨滑車骨軟骨移植を行った 1 例  
篠原 孝明(中日病院名古屋手の外科センター), 太田 英之, 平田 仁  
日本マイクロサージャリー学会会誌 (0916-4936)29 巻 3 号 Page186-192(2016.09)

【しびれるんです!-知っておくべきシビレル疾患】 限局した部位のしびれ 単神経炎を中心に 手がしびれます  
太田英之  
総合診療 26 巻 5 号 Page 378-382(2016.05)

外傷性膝関節脱臼の 2 症例  
佐伯 総太, 水野 直樹, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 日比野 卓哉, 佐々木 梨恵, 村山 敦彦, 加藤 友規, 加納 寛之, 小早川 恭介, 伊藤 鑑, 坪田 貴子, 比嘉 円  
東海整形外科外傷研究会誌 28 巻 Page107-111(2015.09)

大腿骨転子部骨折術後転位による再手術症例の検討  
加藤 友規, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 日比野 卓哉, 佐々木 梨恵, 村山 敦彦, 佐伯 総太, 伊東 翼, 大野 祐輔, 小早川 恭介, 伊藤 鑑  
東海整形外科外傷研究会誌 28 巻 Page16-19(2015.09)

陳旧性肘関節脱臼骨折の 1 例  
太田 英之, 山本 美知郎, 平田 仁  
日本肘関節学会雑誌(1349-7324)21 巻 2 号 Page62-64(2014.12)

【複合性局所疼痛症候群(CRPS)診療の現況と進歩】 CRPS における運動障害発生のメカニズム(解説/特集)

太田 英之, 倉橋 俊和, 岩月 克之, 山本 美知郎, 平田 仁  
末梢神経 (0917-6772)25 巻 1 号 Page13-18(2014.06)

距骨下関節脱臼の 2 例

中川 泰伸, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 佐々木 宏, 太田 英之, 服部 順和  
整形外科(0030-5901)62 巻 13 号 Page1407-1411(2011.12)

上肢に発生した良性軟部組織腫瘍の機能評価と HAND20 の有用性

夏目 唯弘, 太田 英之, 加藤 宗一, 栗本 秀, 飯田 浩次  
日本手外科学会雑誌(2185-4092)27 巻 3 号 Page207-210(2010.12)

著明な陥没転位を伴う橈骨遠位端関節内骨折に対する bone tamp 使用の小経験

太田 英之, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏, 米田 英正  
日本手外科学会雑誌(2185-4092)27 巻 4 号 Page397-400(2011.01)

橈骨遠位端関節内骨折における Ulnodorsal fragment の固定の必要性に関する検討

太田 英之, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏  
日本手外科学会雑誌(2185-4092)27 巻 2 号 Page43-46(2010.11)

Kleinert 変法による Zone II 両屈筋腱断裂の治療成績

矢崎 尚哉, 矢島 弘毅, 太田 英之, 渡邊 健太郎, 木野 義武  
日本手外科学会雑誌(2185-4092)26 巻 5 号 Page372-376(2010.09)

同側大腿骨・下腿骨骨折(floating knee)症例の治療経験

呉 愛玲, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 米田 英正, 日比野 卓哉, 大澤 郁介, 大山 慎太郎, 竹内 智洋, 中川 泰伸, 服部 順和  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)23 巻 Page50-55(2010.09)

大腿骨転子部骨折術後 MRSA 骨髓炎に対して抗生剤含有セメント/骨ペーストを用いた 4 例

日比野 卓哉, 水野 直樹, 渡邊 健太郎, 服部 順和, 太田 英之, 米田 英正, 山賀 篤  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)22 巻 Page91-95(2009.09)

上腕骨通頸骨折

服部 順和, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田

英之, 松尾 英生, 山賀 篤, 米田 英正, 齋藤 太一, 高安 弘恵  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)22 巻 Page41-45(2009.09)

小児の手指に生じた弾発現象を伴う石灰性腱炎の 1 例  
高安 弘恵, 渡邊 健太郎, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏, 太田 英之  
整形外科(0030-5901)60 巻 13 号 Page1369-1371(2009.12)

Cannulated bone tamp を用いて良好な整復を得た juvenile Tillaux 骨折の 1 例  
Author : 齋藤 太一, 太田 英之, 水野 直樹, 服部 順和, 渡邊 健太郎  
整形外科(0030-5901)60 巻 5 号 Page444-446(2009.05)

屈曲型小児上腕骨顆上骨折の 3 例  
松尾 英生, 服部 順和, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 佐久間 雅之, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉,  
佐々木 宏, 熊谷 寛明, 太田 英之, 山賀 篤, 米田 英正, 齋藤 太一  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)21 巻 Page124-127(2008.09)

小児上腕骨顆上骨折の経皮ピンニング ピン配列についての検討  
服部 順和, 渡邊 健太郎, 水野 直樹, 佐久間 雅之, 矢島 弘毅, 矢崎 尚哉, 佐々木 宏, 熊  
谷 寛明, 太田 英之, 渡部 達生, 松尾 英生, 山賀 篤, 米田 英正, 齋藤 太一  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)21 巻 Page110-116(2008.09)

肘関節離散状脱臼の 2 例  
太田 英之, 渡邊 健太郎  
日本肘関節学会雑誌(1349-7324)13 巻 2 号 Page87-88(2006.12)

新鮮舟状骨骨折に対する小皮切 double thread screw 骨接合術の治療成績  
三矢 聡, 渡邊 健太郎, 服部 順和, 水野 直樹, 佐久間 雅之, 矢島 弘毅, 猿渡 知行, 佐々  
木 宏, 水島 秀幸, 三ツ口 秀幸, 熊谷 寛明, 太田 英之, 渡部 達生  
東海整形外科外傷研究会誌(0915-2253)19 巻 Page106-109(2006.06)